

【様式1-1】

# 苫小牧市橋梁長寿命化修繕計画

平成24年12月

(平成29年12月 様式1-1 改訂)

(令和2年3月 様式1-1、1-2 改訂)

苫小牧市都市建設部

## 1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

### 1) 背景

苫小牧市が管理する道路橋は現在142橋あり、このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は、15橋で11%を占めていますが、20年後には89橋で63%となり、急速に高齢化が進んでいきます。

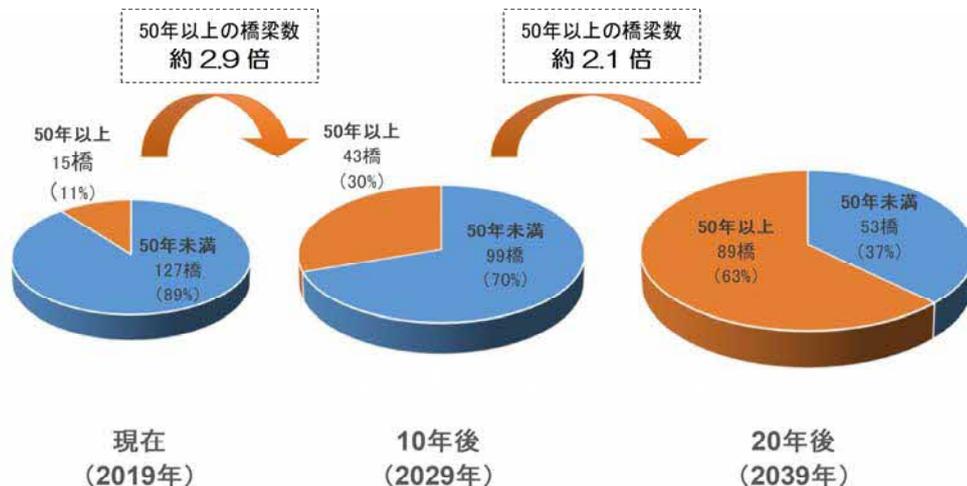
今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠となります。

### 2) 目的

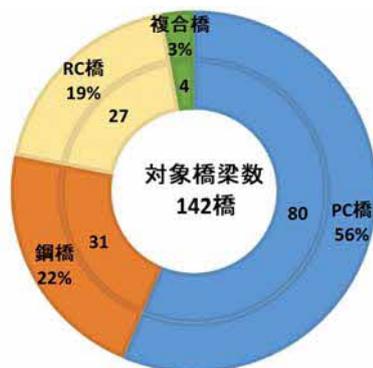
定期点検による橋梁の状態把握、予防的な修繕および計画的な架替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕・架替えに係る費用を縮減します。

重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定します。

【建設後50年以上の橋梁数の増加】



【橋種別の橋梁数】



※RC橋はボックスカルバート(15橋)を含む。



啓北橋(橋長63.0m)  
昭和48年供用開始(46歳)

## 2. 対象橋梁

	1級市道	2級市道	その他市道	合計
全管理橋梁数	31	27	84	142
うち計画の対象橋梁数	31	27	84	142
うちこれまでの計画策定橋梁数	25	27	82	134
うちR元年度計画策定橋梁数	31	27	84	142

## 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

### 1) 健全度把握の基本的な方針

点検マニュアルに基づき、専門家による橋梁点検を実施し、橋梁の健全度（損傷の程度）を把握します。

橋梁点検はおおよそ5年ごとに行っていく予定です。

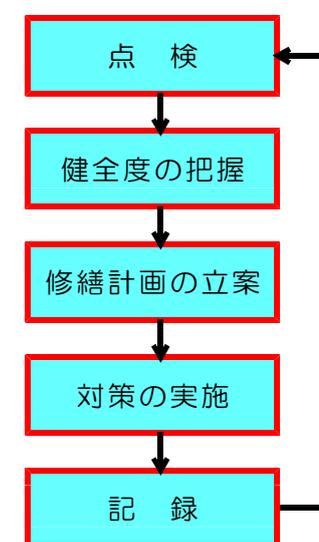
それぞれの橋梁において、点検により把握した健全度に基づき、最適な修繕計画（低コストかつ長寿命化を図る計画）を立案します。

全対象橋梁において、長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいて順次、修繕を実施します。

点検および修繕した結果は、橋梁台帳および点検調書に記入し電子データとして保存します。

### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つために日常的な維持管理として、道路パトロール、清掃、応急措置等を実施し橋梁の異常や劣化進行要因の早期発見、安全な道路交通の確保、第三者に対する被害防止を図り、効率的・効果的な橋梁の長寿命化を推進します。



橋梁の維持管理の流れ

## 4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

### 1) 長寿命化による費用の縮減

健全度把握および日常的な維持管理に関する基本方針に基づき、予防保全的な維持管理・修繕計画を実施し、修繕や架替えに必要な事業費の肥大化や無駄を排除し、ライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図ります。

### 2) 長寿命化修繕計画の見直し

詳細点検結果に基づく橋梁の健全度把握および損傷状況を踏まえ、橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行います。

### 3) 補修優先順位

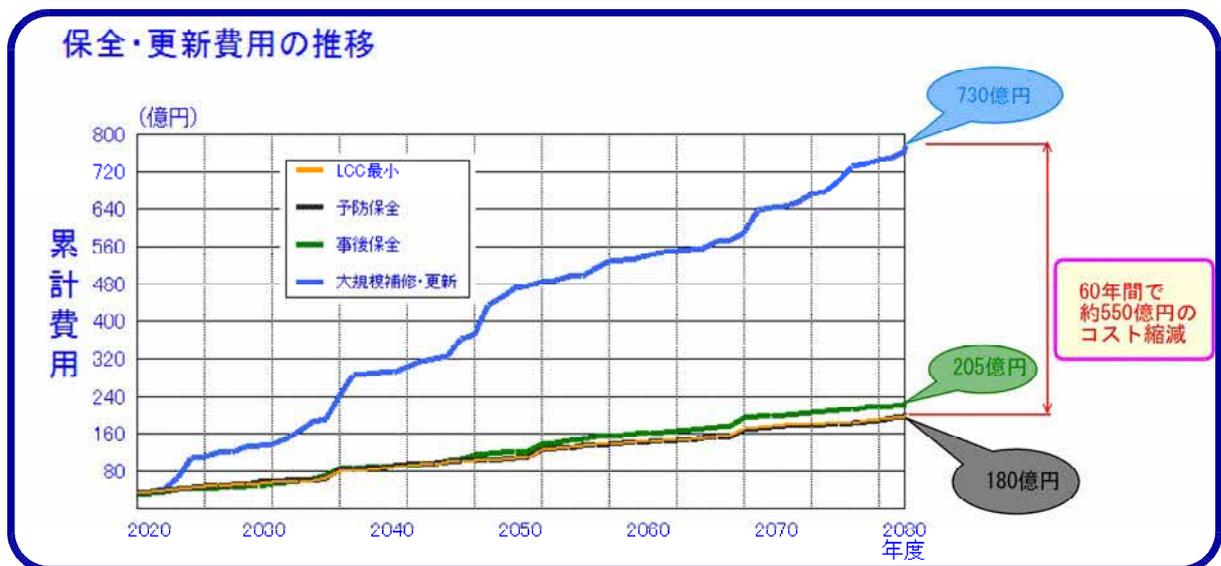
第三者被害、重要路線、塩害地域、交通量などを考慮し、重要度の高い橋梁を優先的に修繕を実施します。

## 5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式1-2による

## 6. 長寿命化修繕計画による効果

今後60年の修繕・架替え事業費を試算した結果、予防保全型（損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う）の累計は約180億円、大規模補修・更新型（できる限り使用し、寿命段階で対策を行う）の累計は約730億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約550億円のコスト縮減が期待できます。



## 7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

- 1) 計画策定担当部署  
苫小牧市 都市建設部 道路維持課 TEL：0144-32-6489
- 2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者  
苫小牧工業高等専門学校 創造工学科（都市・環境系）  
准教授・博士（工学） 松尾 優子